

第2編 第2章 産業と資源

⑥工業の立地と工業地域の内容

4 現代世界の工業と多国籍企業② ―エレクトロニクス産業― (教科書 P.142~143)

▶企業内国際分業の進展 [p.142]

① [] 産業：部品工業と製品工業

→それぞれに特有の立地

先端技術産業（革新スピードが []）…製品開発，工程革新のきびしい競争

・ [], [], []

立地条件…世界の技術・市場情報，先端的な研究者，高度な技術者

→立地… [], [] 工業地域

・ [] 工場

→立地… [] の有利, [] に近接

・ [] の組立工場

→立地… []

・ [] が必要な部品・製品

→立地… [] (技術の集積，精密な機械の駆使)

②企業内分業

→企業の本社，研究・開発部門，試作工場，部品工場，製品工場が世界の異なる国・地域に

立地（高度な情報通信網で結合）

▶企業内分業と新興工業国 [p.143]

①多国籍企業のオフィスと工場の配置

→ [], [], [] に新たな産業集積をもたらしている

・労働集約的な電子・電機部品（1970年代）

→先進国からの技術移転

→ [] な製品（集積回路（IC），パソコン）の生産へ

家電の生産：白黒テレビ→カラーテレビ→液晶・プラズマテレビ

→多国籍企業は， [] と発展途上国の [] にあわせて立

地工場の製品転換

②本国…本社（管理部門）、研究・開発部門のいっそうの強化

- [] 企業（管理と研究・開発機能に特化）の出現
→ [] や []（生産のみをファブレス企業から受託）の急増
…アジア NIES, 中国, ASEAN
- 情報産業（ソフトウェア）でも同様の形態が出現
→インド（[]）、台湾, 中国（ペキン中関村）：新たな産業地域